

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成27年1月8日
【事業年度】	第76期(自平成25年4月1日至平成26年3月31日)
【会社名】	日本プラスト株式会社
【英訳名】	NIHON PLAST CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 須藤 亘
【本店の所在の場所】	静岡県富士宮市山宮3507番地15
【電話番号】	0544(58)6830(代表)
【事務連絡者氏名】	経理部長 斉田 敦
【最寄りの連絡場所】	静岡県富士宮市山宮3507番地15
【電話番号】	0544(58)6830(代表)
【事務連絡者氏名】	経理部長 斉田 敦
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成26年6月27日に提出いたしました第76期（自平成25年4月1日 至平成26年3月31日）の有価証券報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため、有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

## 2【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

7 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(1) 財政状態の分析

(固定資産)

第3 設備の状況

2 主要な設備の状況

(2) 在外子会社

## 3【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_\_\_を付して表示しております。

## 第一部【企業情報】

### 第2【事業の状況】

#### 7【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

##### (1) 財政状態の分析

##### (固定資産)

##### (訂正前)

当連結会計年度末における固定資産の残高は、31,606百万円（前連結会計年度末は26,473百万円）となり、5,132百万円増加いたしました。その主な要因は、有形固定資産が増加したことによるものであります。

##### (訂正後)

当連結会計年度末における固定資産の残高は、31,606百万円（前連結会計年度末は26,473百万円）となり、5,133百万円増加いたしました。その主な要因は、有形固定資産が増加したことによるものであります。

### 第3【設備の状況】

#### 2【主要な設備の状況】

##### (2) 在外子会社

##### (訂正前)

会社名	事業所名 (所在地)	セグメント の名称	設備の 内容	帳簿価額(百万円)						従業員数 (名)
				建物 及び構築物	機械装置 及び運搬具	土地 (面積千㎡)	リース資産	その他	合計	
中山富拉司 特工業有限 公司	本社・工場 (中国広東 省)	中国	安全部品 及び樹脂 部品生産 設備	2,021	1,366	- [101]	-	664	4,591	504
武漢富拉司 特汽車零部 件有限公司	本社・工場 (中国湖北 省)	中国	安全部品 及び樹脂 部品生産 設備	1,084	909	- [48]	-	290	2,481	504

(注) <省略>

##### (訂正後)

会社名	事業所名 (所在地)	セグメント の名称	設備の 内容	帳簿価額(百万円)						従業員数 (名)
				建物 及び構築物	機械装置 及び運搬具	土地 (面積千㎡)	リース資産	その他	合計	
中山富拉司 特工業有限 公司	本社・工場 (中国広東 省)	中国	安全部品 及び樹脂 部品生産 設備	2,021	1,366	- [101]	-	664	4,052	504
武漢富拉司 特汽車零部 件有限公司	本社・工場 (中国湖北 省)	中国	安全部品 及び樹脂 部品生産 設備	1,084	909	- [48]	-	290	2,284	504

(注) <省略>